

名古屋市立大学医学部附属東部医療センターにおける 感染防止対策の取り組みについて

当院は、地域において高度医療・救急医療等の多様な役割を担っており、患者さんやそのご家族及び病院職員にとって安全で快適な医療環境を提供する使命があります。病院全体で院内感染の発生を未然に防ぐとともに、院内感染発生の際にはその原因を速やかに特定し、制圧、終息を図ることが重要です。

当院では、院内感染防止対策を職員一人ひとりが把握し、安全な医療を提供するため、以下のような取り組みを行っています。

【取り組み内容】

1. 感染防止対策を専門とする感染制御チームの設置
2. 感染管理認定看護師の専従配置
3. 「病院感染対策マニュアル」の整備
4. 感染対策の実施状況の確認、助言、指導
5. 職員研修
6. 抗菌薬の適正使用
7. 他の医療機関との連携

病 院 長